

いわてグラフ

特集1 地球温暖化対策

未来のいわてを守るために、
いま私たちができること

特集2 スマート農業技術を活用!

農業DXで変わる未来の農業

12
2025
December



特別編 若者・女性に選ばれるいわてへ
私が見つけた! いわての魅力

表紙 いわてを支える仲間たち

学生プロジェクトチーム

いわてカーボンフリー・アクション(ICFA)の皆さん

撮影場所／環境学習交流センター(盛岡市)



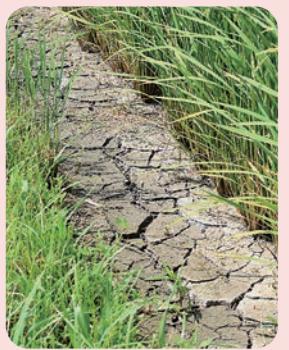
災害リスクの増加

温暖化によって台風や豪雨が起こると、洪水や土砂災害が発生しやすくなります。



平均気温の上昇

近年、地球温暖化の進行に伴い、私たちの生活環境にもさまざまな影響が生じ始めています。夏の平均気温の上昇が確認されており、熱中症のリスクの増大などにつながっています。



農作物の品質低下

高温による農産物の生育不良や品質低下が確認されています。



漁獲量の減少

海水温上昇が要因とされる海洋生物の生息域の変化が報告されており、一部の海産物については、漁獲量の減少が確認されています。

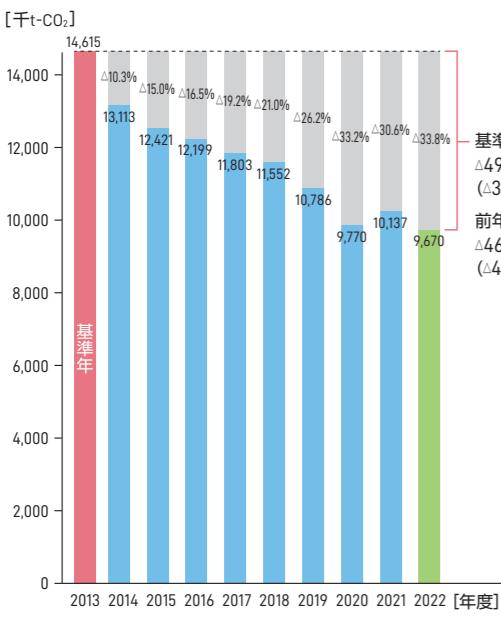
家庭でも
CO₂の削減に
取り組みましょう

温室効果ガスの現状

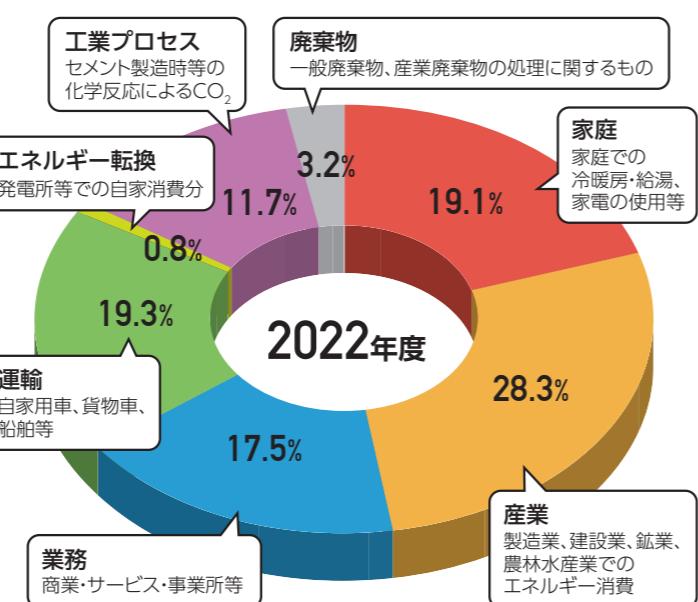
県内では、温室効果ガス排出削減の取り組みが進み、着実に成果が表れています。

一方で、2030年度までに排出量を57%削減するという県の目標を達成するためには、再生可能エネルギーの導入や脱炭素経営の推進など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速していくことが必要です。

2022年度の排出量は約967万トン。2013年度比で約33.8%の削減を達成!



岩手県における温室効果ガス排出量の推移



※各数値について、端数処理の関係から、合計と一致しない場合があります。

未来のいわてを守るために、いま私たちができることがあります

特集1

地球温暖化対策



世界各地で異常気象や自然災害などが発生しています。これらは、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加による地球温暖化を原因とした気候変動の影響によるものだと言われています。県内でも、平均気温の上昇や豪雨災害、農作物への被害など、さまざまな影響が生じています。そこで、県は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、地球温暖化防止に向け、さまざま取り組みを進めています。一人ひとりが温室効果ガスの排出を抑える省エネを意識し、できることから始めていきましょう。

温室効果ガス排出量実質ゼロとは

二酸化炭素に代表される温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量の差し引きをゼロにすること。



いわてを支える仲間たち
学生プロジェクトチーム
いわてカーボンフリー・アクション
(ICFA)の皆さん

いわてカーボンフリー・アクション(通称:ICFA)は、県内各地の大学の学生が有志で参加している学生プロジェクトチームです。2023年度から活動を開始しており、脱炭素に向けた広報活動を行っています。ICFAのSNSアカウントでは、「脱炭素につながる暮らしのヒント」などを発信しています。

より詳しいお話を
サイトで公開中



CONTENTS

特集1

地球温暖化対策
未来のいわてを守るために、
いま私たちができること

1

いわて県民計画PICK UP!
テーマは「教育」/
地域とともに取り組む魅力ある学校づくり
復興、その先へ。
[宮古市→釜石市]

5

6

特集2
スマート農業技術を活用!
農業DXで変わる未来の農業
このまちが好き [県北エリア]
いわて黄金のマリアージュ
りんごのヨーグルトケーキ
岩手県からのお知らせ

7

9

10

特別編
若者・女性に選ばれるいわてへ
私が見つけた! いわての魅力
ナシテ? イワテ、ダガラ! イワテ
読者アンケート&プレゼント

11

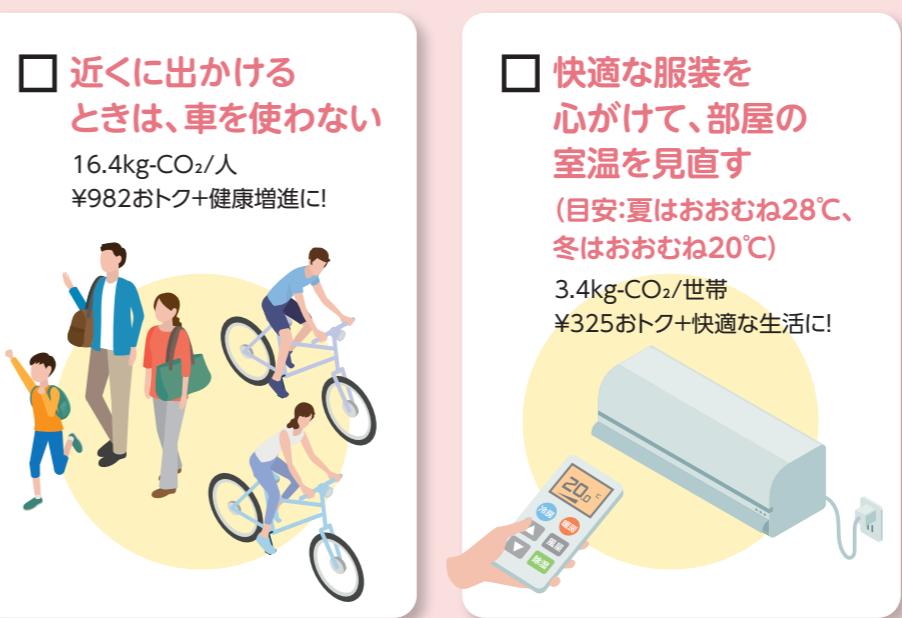
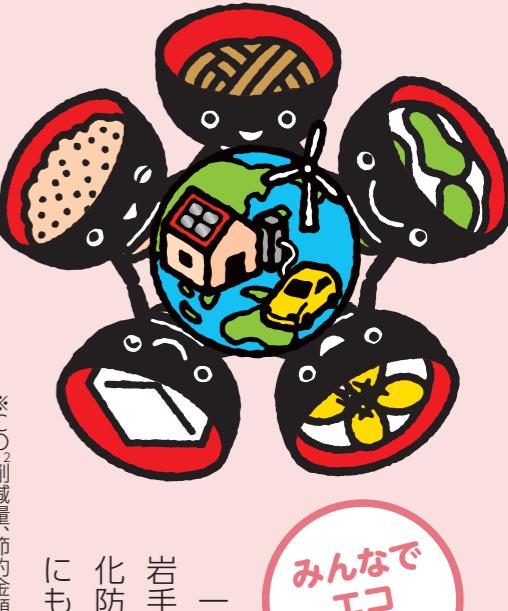
裏表紙

表紙



①

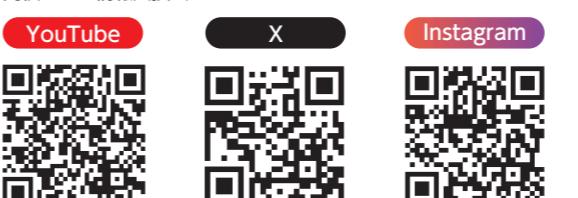
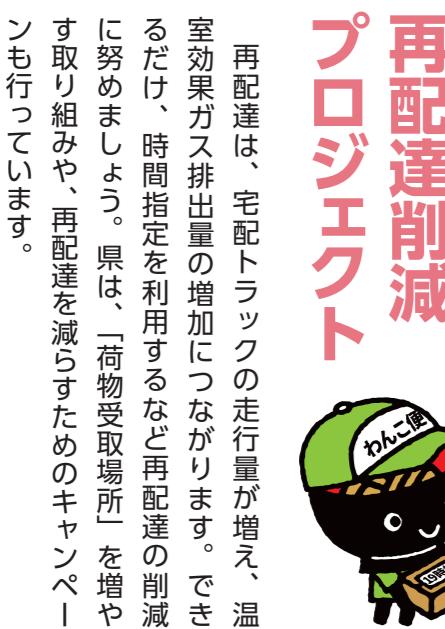
[特集1] 地球温暖化対策 未来のいわてを守るために、いま私たちができること



一人ひとりが省エネを意識すると、自然豊かな岩手の環境を守ることにつながります。地球温暖化防止に向けたエコアクションで、地球にも家計にも優しい生活をしていきましょう。

みんなでエコチェック!

家庭でできる省エネ生活



いわてカーボンフリー・アクション（通称：ICFA）は、県内大学の連携による学生プロジェクトチームです。県内各地の学生40名以上が参加し、大学、学部の垣根を越えて脱炭素に向けた広報活動を行っています。SNSでは、ショート動画などを制作し、ICFAの活動や暮らしの中で実践できる脱炭素に関する出前授業、ワークショップなど、県内外で活動しています。学生と一緒に脱炭素につながる行動を実践していきましょう。

いわてカーボンフリー・アクション（通称：ICFA）は、県内大学の連携による学生プロジェクトチームです。県内各地の学生40名以上が参加し、大学、学部の垣根を越えて脱炭素に向けた広報活動を行っています。SNSでは、ショート動画などを制作し、ICFAの活動や暮らしの中で実践できる脱炭素に関する出前授業、ワークショップなど、県内外で活動しています。学生と一緒に脱炭素につながる行動を実践していきましょう。

県内各地の大学生が連携！

復興、その先へ。

未来へつながる三陸

「より良い復興～4本の柱～」を軸として、着実に復興に取り組む三陸。復興の今に触れ、「その先」へ進む三陸を三陸鉄道で訪れてみませんか。

4本の柱

安全の確保

暮らしの再建

なりわいの再生

未来のための伝承・発信



宮古市
と
釜石市

三陸鉄道
ホームページ



体験する

宮古市重茂水産体験交流館 えんやあどっと

「津軽石駅」からタクシー15分



宮古市重茂水産体験交流館

0193-68-12301

▲体験期間は「春いちばん」の
収穫時期によって変動します



0193-89-17025

立ち寄る

道の駅ふなこじいぐべす

「岩手船越駅」から徒歩11分



0193-89-17025

世界が注目する

みちのく潮風トレイルを歩こう!

大槌駅↔鵜住居駅のビューポイントをご紹介



3.11大槌希望の灯り

東日本大震災津波への追悼と復興を祈願して神戸市、陸前高田市、南相馬市のガス灯「希望の灯り」から分灯され、今も絶えずともり続けています。ガス灯がある城山公園の高台からは大槌の町と海を一望できます。



根浜海岸

青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐロングトレイル。雄大な景色が魅力的な復興の道として2024年2月にイギリスのタイムズ紙「日本で訪れるべき場所14選」にも取り上げられました。



環境省
みちのく潮風
トレイル
公式サイト

船越半島の入場ゲート 7月全面リニューアル!

「道の駅ふなこじいぐべす」

に位置する「道の駅ふなこじいぐべす」は、「旧ふれあいパーク山田」を改修し、2025年7月に道の駅としてリニューアルオープンしました。山田町特産のしいたけをはじめ、カキなどの海産物、「山田せんべい」や「豆すつとぎ」などの郷土菓子までそろっています。食堂ではソフトクリームや三陸磯ermenが人気。新設された展望テラスからは山田湾が見渡せます。

一人ひとりの幸福を守り育てる「いわて県民計画(2019~2028)」

10の政策分野から今回は 教育 をPICK UP!



東大洋研の先生方の指導のもと、採取したサンプルを仕分け(はま研究会)

県立大槌高等学校は、2024年度入学生から普通科を「地域探究科」へ改編し、地域と協働しながら一人ひとりの強み「大槌」を育て、地域や社会に貢献できる人材の育成を目指しています。その特色は、大槌町に、一人ひとりをフィールドに、一人ひとりの興味関心をテーマにして探究活動などに取り組む「総合的な探究の時間」や、国語や数

「本校はこれまでも探究活動に力を入れてきたため、地域探究科へは自然な流れで移行できました」と話すのは同校の志田敬校長。地域との調整役は、大槌町が配置した魅力化アドバイザーの小野寺綾さんは、「大槌町だからこそできる教育の形を模索していく」こと意気込みます。その他、東京大学大気海洋研究所と共に海に海をを入れた「地域みらい学」の設定など、地域を舞台に課題解決に取り組む学

びにあります。

「生徒たちの成長は地域との相乗効果も生まれ出しており、町が活性化している」との声も寄せられています。

「生徒たちのおかげで町が活性化されています。魅力化アドバイザーの志田校長は、これまでの取り組み

からこそできる教育の形を模索していく」と意気込みます。その他、東京大学大気海洋研究所と共に海に海を

を入れるために、地域と連携して次のステップへ歩みを進めています。

「生徒たちの成長は地域との相乗効果も生まれ出しており、町が活性化している」との声も寄せられています。

「生徒たちのおかげで町が活性化されています。魅力化アドバイザーの志田校長は、これまでの取り組み

からこそできる教育の形を模索していく」と意気込みます。その他、東京大学大気海洋研究所と共に海に海を

を入れるために、地域と連携して次のステップへ歩みを進めています。

県立高校の魅力を「note」で発信

県教育委員会は、メディアプラットフォーム「note(ノート)」を活用して、県立高校が実施する探究学習や地域連携の取り組み、生徒の学びの様子などの情報を発信しています。全県立高校と県教育委員会が一体となって、多くの皆さんに高校の魅力を届けています。

note



いわて 県民計画 PICK UP!

県は、魅力ある学校づくりを推進するため「いわて高校魅力化推進事業」を全県立高校で展開しています。

今回は、生徒の主体的な探究活動を軸に、地域をはじめ多様な分野との連携・協働を通じて、特色ある高校づくりに取り組んでいる県立大槌高等学校を紹介します。

いわて県民計画について
もっと詳しく知りたい方は
こちらもチェック!



高校魅力化の新たな取り組み

県教育委員会は、生徒の探究的な学びを伴走支援するため、2025年度から新たに「魅力化アドバイザー」を配置し、探究的な学びの助言支援を行っています。また、探究的な学びの手法などについて情報交換を行う「探究共創交流会」を開催し、学びの活性化を図っています。



2025年8月1日に開催した「探究共創交流会」の様子

県教育委員会事務局 学校教育室 019-629-6206

PICK UP / 教育

健康・余暇

家族・子育て

居住環境・コミュニティ

安全

仕事・収入

歴史・文化

自然環境

社会基盤

参画

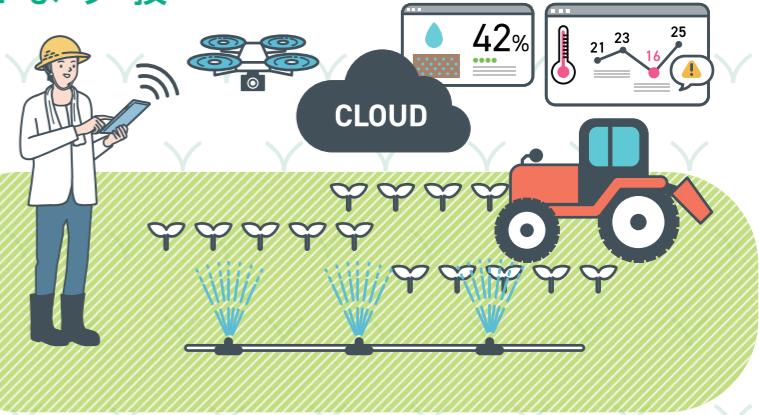
(5)

スマート農業技術
を活用！

スマート農業技術

農業DXで 変わる 未来の農業

農業の現場では、スマート農業技術を取り入れた「農業DX(デジタルトランスフォーメーション)」による農業の生産性・収益性の向上を目指す取り組みが進んでいます。



農業DXで目指す持続可能な農業

農業に携わる人の高齢化や人口減少が進む中、スマート農業技術などを活用した「農業DX」が注目されています。ロボットやAIなどの先端技術や、各種データの活用により、農業の生産性や収益性の向上につなげ、新たな価値の創出やビジネスモデルへの変革を目指します。

農業DXを進める上で大切なのは、「人・機械・農地へのアクセス」と考えています。点在していた農地をまとめて大きな区画にし、作業を効率化しました。また、従業員は全員スマートフォンと専用の管理ソフトを使って、作業の進み具合や応援が必要な現場などをリアルタイムで共有しています。作業の「見える化」は、業務の無駄を減らし、効率よく進められるだけでなく、人材育成や働き方にも良い影響を与えています。これからもスマート農業技術を活用しながら新たな挑戦を続けていきたいと考えています。



「見える化」で変わる 農業の働き方改革

農業DXに取り組む株式会社西部開発農産。スマート農業を主導する受託部部長の清水一孝さんにお話を伺いました。

農業DXを支える技術 農業の現場で活躍する 技術の一部を紹介します

導入事例は
こちらから



岩手県スマート農業事例集



農薬散布用ドローン



環境モニタリング

技術の概要

ドローンを自動飛行させ、農薬や肥料などを空中から散布する

効果

作業人員や作業時間の削減
自動飛行のため、経験が浅いオペレーターでも作業が可能
無人ヘリコプターでは散布が困難な山間部などでも効率的な散布が可能

農薬の効率的な使用により環境負荷が低減

技術の概要

施設内外の環境(温湿度、CO₂濃度、日射、風速などを各種センサで自動測定し、その測定値(環境データ)をタブレットなどで確認する

効果

遠隔地からでも施設内環境を確認でき、近くにいる作業員への作業指示が可能
施設内環境の見える化により環境改善が図られ、収量や品質の向上が実現

スマート農業技術 導入判断支援ツール



いわてアグリ
ベンチャーネット
Iwate Agri Venture net



経営規模に応じたスマート農業技術導入の判断をお手伝い。技術の概要や効果、コストの目安などを確認することができます。自分の経営にはどんなスマート農業技術が適しているのか、判断を支援するツールを公開しています。

いわての農業情報をお届けするポータルサイト「いわてアグリベンチャーネット」では、スマート農業をはじめとした農業技術や農村地域などの情報を幅広く掲載しています。ぜひご活用ください。

農業DXで 変わる 未来の農業

スマート農業技術
を活用！

スマート農業技術

農業DXで 変わる 未来の農業

スマート農業技術
を活用！

岩手県からのお知らせ



ご存じですか?

東日本大震災津波に係る県税の軽減のお知らせ

不動産取得税は、不動産(土地・家屋)を取得したときに一度だけ課税される税金です。

東日本大震災津波により滅失・損壊した家屋(被災家屋)に代わる家屋(代替家屋)や、代替家屋の敷地の用に供する土地(被災家屋の敷地に代わる分)を2026年3月31までに取得した場合、不動産取得税が軽減される特例措置があります。

詳しくは、お近くの広域振興局の県税窓口までお問い合わせください。

県税課 019-629-5144

企画展「第37回賢治資料展」のご案内

「第79回読書週間」(10/27~11/9)に合わせ、過去2年の間に岩手県立図書館が新たに収集した宮沢賢治関連資料を一堂に集めて展示します。さらに、「賢治余聞~知つてゐる賢治さんのこと~」と題し、宮沢賢治のちょっと意外な一面を紹介するテーマ展示を行います。ぜひご来場ください。

■期間／2026年1月18日(日)まで

岩手県立図書館 019-606-1730

現代美術を代表する菅木志雄をご紹介

コレクション展第3期では、日本の現代美術において重要な美術動向「もの派」を代表する作家で、岩手県出身の菅木志雄の作品を中心にご覧いただきます。菅木志雄は、並べる、曲げるといったシンプルな行為を加えながら、石や木、金属などの日常的な素材を空間に置いたり組み合わせたりすることで、素材同士や置かれた場所、さらには人との関係性を考えさせる作品を発表し、世界的に高く評価されています。

■期間／2026年1月25日(日)まで

岩手県立美術館 019-658-1711

ご意見・ご提言はこちら

手紙・はがき 〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課

電子メール koucho@pref.iwate.jp

電話 019-629-5110

受付時間 8:30~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

ファクシミリ 019-651-4865[24時間受付]

ホームページ・SNSで岩手の情報発信中！

県政情報、防災情報、
岩手の魅力情報を発信中
「岩手県広聴広報課X」



「岩手県公式LINE」



岩手県
ホームページ
岩手県



東日本大震災津波伝承館の
情報を発信中
「いわてTSUNAMIメモリアル」



県産食材などの放射性物質濃度
検査結果(2024年度)

【農林水産物の検査】県庁農林水産企画室 019-629-5622
【流通食品の検査】県庁県民くらしの安全課 019-629-5270
【全般】県庁復興危機管理室 019-629-6924

県政テレビ番組 ■テレビ岩手 …… 月曜日 18:54~19:00
(再放送) 土曜日 21:54~22:00
■[12月]IBC岩手放送 火曜日 18:55~19:00
■[1月~]岩手めんこいテレビ 土曜日 11:45~11:50
※都合により放送時間が変更になることがあります。



お出かけ情報など、その他のお知らせは
「いわてグラフ」専用サイトでチェック！



岩手県公式
観光サイト
いわての旅
「県北エリア」



花火の
打ち上げを提言した
一戸中学校の皆さん
一戸町立一戸中学校(提言当時2年生)の5名。3年生になって班が
変わった今も仲良しの5名が、
まちの魅力を語ります。

10年後も一戸町で打ち上げ花火を見上げたい！



「いちのへまるごとフードフェスティバル」。フィナーレで200発の花火が打ち上げられました。

私たちの中学生2年生の時に、総合的な学習の時間で10年後の
一戸町のことを考えました。過疎化が進まないための対策として、まずはまちに来る人
の数を増やすなければなりません。そこで「一戸町の美しい夜空に花火を打ち上げたら、町外からも人が集まるのではないか」と考え、提言をまとめました。6月。地域の魅力を発信するイベント「いちのへまるごとフードフェスティバル」で花火の打ち上げられました。

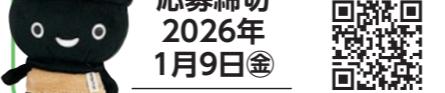
私たちの中学生2年生の時に、総合的な学習の時間で10年後の一戸町のことを考えました。過疎化が進まないための対策として、まずはまちに来る人の数を増やすなければなりません。そこで「一戸町の美しい夜空に花火を打ち上げたら、町外からも人が集まるのではないか」と考え、提言をまとめました。6月。地域の魅力を発信するイベント「いちのへまるごとフードフェスティバル」で花火の打ち上げられました。

「わんこきょうだい」オリジナルグッズが当たる!
このまちクイズ

Q クイズに正解した方の中から抽選で5名様に
わんこきょうだいグッズをプレゼント!

世界遺産に登録された
一戸町にある縄文遺跡は?
こたえ □□□遺跡

応募締切
2026年
1月9日(金)

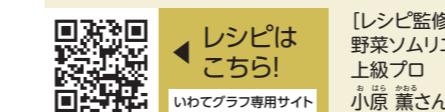


地から200発の花火が打ち上げられました。その日、町中がにぎわい、多くの人が花火を見上げていたと思うと、そこで10年後、この打ち上げ花火が、まちのもう一つの魅力となっていることを願います。

地から200発の花火が打ち上げられました。その日、町中がにぎわい、多くの人が花火を見上げていたと思うと、そこで10年後、この打ち上げ花火が、まちのもう一つの魅力となっていることを願います。

いわて 黄金のmarie
マリアージュ

食材の宝庫いわて。旬の岩手県産の食材に、
いわてのオリジナルの品をプラスして
簡単でおいしい一品料理を作ってみませんか。



レシピは
こちら!
いわてグラフ専用サイト



ふじ(りんご)
金のヨーグルト
岩手の「ふじ」は、酸味が少なく甘味が強いのが特長。
果汁もたっぷりです。



りんごたっぷり。爽やかな風味のベイクドケーキです。

今日は、県北広域振興局
エリアから一戸中学校
3年生の5名に地域の魅力をお聞きします。

このまちが好き

私たちが住んでいる一戸町は、世界遺産「御所野遺跡」などのウインターリースキーなどもあり、自然も豊かなまちです。クロスカントリースキーなど楽しめます。



2021年に「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の1つとして世界遺産登録された「御所野遺跡」。

若者・女性が魅力を感じる「選ばれるいわて」であるために

岩手に生まれ育ち、岩手で生き続ける人、県外に出て戻ってくる人、県外で活躍する人、そして、県外で生まれ育ち、岩手にやつてくる人。皆さんがあの形で岩手とつながりながら、希望の道を進むことができるいわてにしていくことが重要です。

県は、若者の皆さんのが声を聴きながら、岩手の価値や魅力を共有・発信し、さまざま取り組みを進めていきます。

特別編 若者・女性に 選ばれるいわてへ

私が見つけた! いわての魅力

「いわて留学」の高校生に聴きました!



いわて留学実施校に通う4名の高校生と
達増拓也知事

県外から県内の高校に進学する「いわて留学」。県は、若者・女性に「選ばれるいわて」の実現に向けて、いわて留学実施校に通う県外出身の高校生の皆さんと達増拓也知事との県政懇談会を開催しました。

懇談会では、県外出身高校生から見たいわての魅力が語られました。

寮で毎日温泉に! 自然の恵みを体感できるまち

雪国の暮らしを経験してみたいと思い西和賀高校があるいわてを選びました。寮では温泉に入ることができ、毎日が修学旅行のようです。雪、温泉、豊富な山菜など魅力が多い西和賀町は、沢内村時代、全国に先駆けて乳児と老人の医療費無償化を実現し、乳児死亡ゼロを成し遂げたまちでもあります。私は将来、医療の道に進みたいと思っています。進学は地元埼玉を予定していますが、いつか私を温かく迎えてくれたこのまちに戻り働きたいと考えています。

なんといても人! いわての魅力を発信していきたい

学校説明会で住田高校の活動を聞き、自分がやりたいことができると思い、いわてに決めました。いわての魅力はなんといても人。礼儀正しく温かい人たちに感動してばかりです。自然も豊かで、日ごとに変わる風景をインスタグラムなどで発信しています。将来は、広報の仕事に就きたいと思っています。卒業後は、地元の大学に進学予定ですが、多言語を習得し、いわての魅力を多くの人に発信していきたいと思っています。

自然、郷土芸能! 求めていた生活がここにある

中学の時、留学先で出会った尊敬する先輩に葛巻高校を勧められ、いわてを選びました。四季を感じられる暮らしは、飽きることがありません。学校の総合的な探究の時間では、タンポポのシロップや、松の葉サイダーなどを作りました。郷土芸能部では、葛巻神楽にも挑戦。教えてくれた地域の人たちの温かさを感じました。今後は、地域創生を学びたいと思っています。いつか地域おこし協力隊などを通じていわてに貢献したいです。

研究もアクティビティも 三陸の海はすごい!

海が好きで大槌高校の「はま研究会」の活動に惹かれ、いわてに決めました。研究会では、海の生き物たちの生態を調べます。三陸の海はドンコやアイナメなど興味深い魚がいっぱいです。また、海水浴や釣りなどのアクティビティを楽しめるのも魅力です。この三陸の海を多くの人に知ってもらいたいと思い、地域でプチ水族館を作りました。卒業後は、大学に進学して魚の知識を深め、海に関する職業に就きたいです。



岩手県立西和賀高等学校 [2年]

根岸 菜乃陽さん
■埼玉県寄居町出身



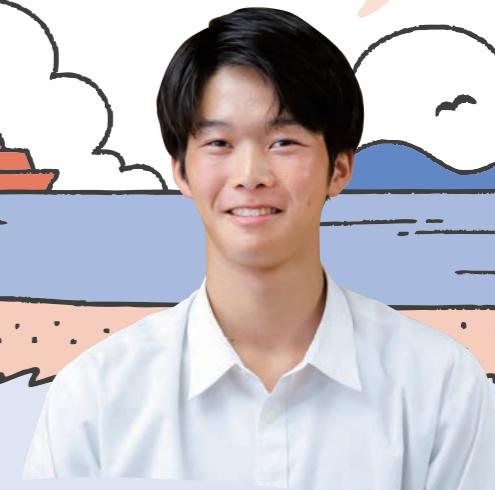
岩手県立住田高等学校 [2年]

湯浅 皓埜さん
■神奈川県横浜市出身



岩手県立葛巻高等学校 [3年]

高橋 春さん
■埼玉県所沢市出身



岩手県立大槌高等学校 [2年]

深井 陸さん
■千葉県野田市出身

庭でBBQもできる！

住宅の敷地面積の大きさ

全国
3位

361m² [東京/139m²]

出典：総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2025」



広くて
快適

涼しくて過ごしやすい

猛暑日・熱帯夜が少ない



岩手の夏は

35°C以上の猛暑日が

**2日、
1日**

25°C以上の熱帯夜が **1日** 程度

[東京/猛暑日19日、熱帯夜37日]

出典：気象庁「2024年夏（6月～8月）の猛暑日、真夏日等日数」

就職活動を応援するメディア 『みんなの想職活動』

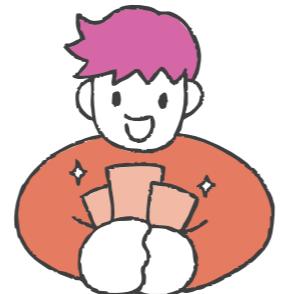
県の公式プロジェクト「みんなの想職活動（そうしょくかつどう）」は、Z世代の皆さんの就職活動を応援するWEBメディアです。岩手の企業の魅力や面白さをカジュアルに多様な切り口で発信し、仕事・暮らし・生き方・未来を考えるためのさまざまなヒントや情報を届けています。



みんなの想職活動

データで見える！ いわての魅力

食費や家賃が安い



東京より岩手の方が経済的に豊か

収入から税金などを引いた
可処分所得 - 食費、家賃、光熱費を含めた
基礎支出 =

東京より約 **3万円** 高い

出典：国土交通省「平成26年都道府県別の経済的豊かさ（可処分所得と基礎支出）」

帰って何を
しようかな♪

自分時間が
ある

**帰宅時間
の早さ**
18:06

[東京/19:15]

出典：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

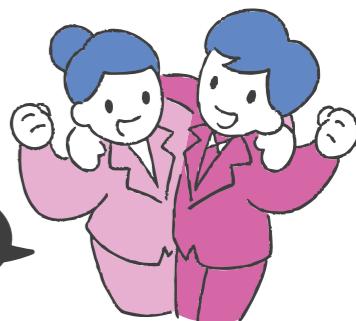
夫婦でシェア！

共働き夫婦の割合が全国平均より高い

54.0%

[全国/50.9%]

出典：総務省統計局
「令和4年就業構造基本調査」



一緒に
がんばろう！

朝のラッシュがない

**通勤・通学時間
の短さ 61分**

[東京/92分]

出典：総務省統計局
「令和3年社会生活基本調査」

よく
寝たなあ



高校生をはじめとする若い世代の皆さんには、これから進学、就職、結婚、子育てなど、人生の分岐点となる選択を自分自身で決断する場面が増えていきます。県は、そんな皆さんを応援するため、さまざまな取り組みを進めています。ここでは、皆さんのこれから生き方のヒントとなるような情報を紹介します。

自分らしい生き方を見つけてみよう 『JIBUN VISION』



県が発行するデジタルブック「JIBUN VISION（じぶんびじょん）」では、高校生をはじめとする若い世代の皆さんのが、仕事、結婚、妊娠・出産、子育てなど、これからのライフプランを考える際のヒントになるようなデータや情報を届けています。



「JIBUN VISION」
スマートフォン版

ふるさわ ようすけ
古澤 洋将さん

滝沢市出身。筑波大学大学院システム情報工学研究科博士前期課程修了後、CYBERDYNE株式会社でロボットスーツの開発に従事。東日本大震災津波の発生を機に帰郷し、2016年2月に炎重工株式会社を設立。

岩手の誇る文化、自然、食材、そして人。だから、私は岩手が好き！それぞれの情熱が架け橋となり、岩手の魅力を全国・世界へ届けています。

ナシテ？イワテ ダガラ！イワテ

ナシテ？イワテ
ダガラ！イワテ

水上ドローンの 技術で 世界の水インフラの 予防保全に挑む

滝沢市から水上ドローンで世界に挑むのは、炎重工株式会社代表取締役の古澤洋将さん。東日本大震災津波の発生を機に岩手にいた事業を通じて復興に貢献したいと水上ドローンの開発・製造を行う会社を立ち上げました。「岩手は製造業が盛んな地域。その強みを生かして復興を進めたいと思い、ロボット技術という自分の得意分野で事業を開始しました」と古澤さん。

橋やダムの点検、水難救助、ゴミ清掃など多用途に活用される同社の水上ドローンは、今や国内シェアトップで6割以上を占めるまでに成長。古澤さんは「岩手は、海や河川、ダムなど多様な水域がそろい、水上ドローンの開発・実証に適しています。水や食もおいしく日常生活を送る上でも良い環境です。最大の魅力です」と話します。

炎重工株式会社
滝沢市穴口57-9
019-618-3408



水上ドローンの開発・運用に使用する大型車両は、災害時の対応や遠隔地での作業における移動式の拠点として役立っています。

インタビュー
動画を
サイトで
公開中

いわてグラフ専用サイト



老朽化が世界的にも課題となる中、注目を集めている水上ドローン市場。海外進出に積極的な古澤さんは、「これまで培ってきた実績を踏まえ、海外市場の開拓を進めるとともに、用途に応じた多彩なモデルをそろえて、お客様のニーズに応えられるよう努力していきます。水上ドローンの製造を通じて、岩手の雇用創出にも貢献したいと考えています」と語ります。いわての技術で世界に挑みます。



2019 Tech in Asia Conference
(インドネシア)

アンケートに答えてプレゼントをもらおう!

1.記事は分かりやすかったですか?(番号で回答)

- 1**非常に分かりやすい **2**分かりやすい **3**普通 **4**分かりにくい
5非常に分かりにくい

***4**または**5**の方は、どのような点が分かりにくかったかお書きください。

2.今回の企画で興味を持ったものは何ですか?

3.県政で興味があるものは何ですか?(番号で回答)

- 1**産業 **2**医療・福祉 **3**防災 **4**教育・文化 **5**環境

- 6**社会資本整備 **7**その他(関心のあるものをお書きください)

4.本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

A

令和7年産
岩手県産キューブ米2種
「金色の風」、「銀河のしづく」各450g

株式会社純情米いわて
019-638-0120



「金色の風」、「銀河のしづく」の2種。食べ比べにちょうどいい450g(約3合)です。

B

金のヨーグルト
140ml×3個

株式会社おさんぽジャージー
中屋敷ファーム
0195-36-1348

4名様

4名様



ジャージー牛乳100%使用のプレーンヨーグルト。P9「いわて黄金のマリージュ」のレシピをお試しください。

アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で合計8名様にプレゼント!

住所・氏名・年齢・職業・電話番号・ご希望の商品のアルファベット記号(A-Bいずれか)をお書きの上、ハガキ、FAX、電子メール、または右の二次元コードを読み込んで、応募フォームからご応募ください。■送り先/○ハガキ:〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課「いわてグラフ12月号・読者アンケート」係 ○FAX:019-651-4865 ○電子メール:kouhou@pref.iwate.jp ■応募締切/2026年1月9日(金)必着 ■当選発表/商品の発送(2月上旬頃)をもって代えさせていただきます。

*ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理のもと取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。

